交配相談サービス
実施農家レポート

芽室町：癤師（ぎゃくし）牧場　～牛群の未来予想図を描いてます～

ジェネティクス北海道は、2009年より交配相談サービスを提供させていただいております。本サービスは、近交係数の上昇を抑制しながら、改良目標に沿った種雄牛が3頭推奨されることが特徴です。

今回は、昨年より交配相談を活用して頂いている芽室町の癤師牧場の授精担当で、経営主の聖一さんの奥様の真由美さんに、交配相談を始めるきっかけや牛群の未来予想図を伺いましたのでご紹介します。




癤師　真由美さん

ゲートボール発祥の地として知られる芽室町は、北海道十勝管内の中心に位置し、日本有数の晴天率（平成8年度から10年間平均48%）を誇ります。肥沃な大地と気象条件に恵まれ、畑作を中心とした大規模経営が行われており、中でもスイートコーンの作付面積と収穫量は全国１位を誇っています。
（芽室町HP参照）http://www.memuro.net

①牧場の概況について教えて下さい。

飼養頭数は65頭、うち搾乳頭数が55頭です。タイストール式牛舎で飼養しています。9月の検定成績によれば1頭あたりの検定乳量は34.9kg/日、305日乳量は10,400kgで平均産次数は2.8産です。

②ジェネティクス北海道の交配相談サービスをどのようにして知りましたか？

十勝北見事業所の担当者からの紹介で交配相談サービスを知り、2010年9月より利用しています。

③交配相談を利用してどのような感想を持ちましたか？

『癤師牧場では、改良したい形質を第1形質が肢蹄、第2形質が乳脂率で設定し、農場独自の選定種雄牛の中から推奨種雄牛を抽出しています。』

うちの牧場は、飼料の生産基盤が限られているためにそれらを有効に活用しなければいけません。そのために、飼養管理と同時に遺伝改良の面からも乳脂率を高くするために第2形質を乳脂率にしています。交配相談を利用してみた感想は、改良したい形質に合わせた3頭の推奨種雄牛が表示される点が良いと思います。交配相談を利用する以前は、近交係数の急上昇を抑制する種雄牛が全て表示される近交回避プログラムを利用していました。授精の際は、交配相談の結果に基づいて授精に利用する種雄牛を選択しています。

『北海道のホルスタイン雌牛の近交係数は、5.48%と算出されています。当団の交配相談は、ホルスタイン農協の血統登録情報を利用しているために正確な近交係数を知ることができます。さらに次世代の近交係数の急上昇を抑制する種雄牛を推奨しています』

④今後の牛群改良の方向性について教えて下さい。

管理しやすい牛群に改良したいです。具体的には、体のサイズが大きすぎずに均一性がとれ、さらに限られた飼料の生産基盤を有効に活用出来る牛群に改良してみたいです。近交係数については急な上昇を避け、現状の値（5.04%）を維持していけたら良いと思います。

⑤交配相談サービスについて一言

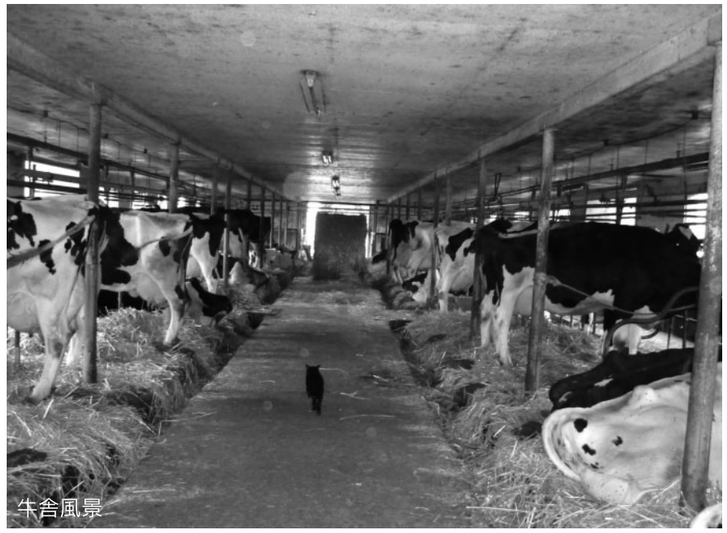
交配相談を利用する前と後でどれくらい牛群に変化が表れたのかを知りたいです。

今回は、癤師牧場で交配相談サービスを利用するきっかけや、今後の改良の方向性について、とても整理整頓の行き届いた清潔な牛舎でお話を伺うことが出来ました。さらに授精担当の真由美さんが楽しそうにお話しされていたことが印象に残りました。真由美さんが授精担当になって4年が経ちましたが、牛群の改良トレンドをグラフで見たところ、着実に牛群の改良が進んでいることがわかりました。今後も継続して交配相談を利用され、牛群改良の変化を見ていただくことができたらいいなと感じました。

最後に、『癤師（ぎゃくし）』という名字は大変珍しく日本では70数人しか名乗る人がいないそうです。由来は『癤（おこり）』というマラリアの意味で、先祖がマラリア患者を治療するために祈祷した呪術師か医師らしく、その名残が名字になったと伺いました。

大変お忙しい中、今回の取材にご協力頂いた癤師牧場のみなさんに感謝いたします。交配相談の効果が牛群に表れるには長い時間を要するため、継続することが大変重要となります。今回頂きました貴重なご意見とご感想を活かし、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えています。御協力ありがとうございました。

（改良情報課　大林　敏朗）


牛舎風景

Genetics Hokkaido Mating Service
ジェネティクス北海道交配相談サービス
理想とする牛群づくりをお手伝いいたします！
北海道限定
▶▶ 詳しくはお近くの事業所、または改良部までご連絡ください。